



The Federation of Japan Amateur Orchestras Corp.

発行所:(社)日本アマチュアオーケストラ連盟  
発行責任者:森下 元康

〒441 8028 愛知県豊橋市立花町46 光陽ビル3F  
電話(0532)33 6885 FAX(0532)33 6875

e-mail: info@jao.or.jp http://www.jao.or.jp/



vol.51

## 第16回通常総会、理事会開催

## 平成15年度予算案など審議

(社)日本アマチュアオーケストラ連盟の第16回通常理事会、総会は去る2月22日、東京上野精養軒にて開催された。当日は雨模様の中、全国各地の65団体の代表者が集まり熱心な討議がなされた。

総会に先立つ午後1時から理事18名、監事1名の出席を得て第16回通常理事会が開催された。そこで総会上程する案件が審議され、いずれも原案通り上程することが承認された。

総会は午後3時から始まり、冒頭、神野信郎会長の提案により、昨年11月21日にご逝去された当連盟の総裁である、高円宮憲仁親王殿下に対し、哀悼の意を表し、全員で1分間の黙祷を捧げた。続いて神野信郎会長は挨拶の中で、ご就任以来の高円宮殿下のご功績を語り、思い出の数々を述べた。また、高円宮殿下のご遺志に沿い、これからも一層、当連盟の充実をはからなければならないとの決意を表明した。会場には笑顔の殿下のお写真が飾られ、会員一同、悲しみを新たにした。



総会は、定足数の確認、議事録署名人の選出に続いて、神野会長が議長になり、第1号議案「平成14年度補正収支予算」案の審議に入った。事務局から、企業の協賛金減額により補正予算を組むとの理由が述べられ、詳しい説明がなされた。議長が賛否を諮ったところ、同案は満場一致で承認可決された。

続いて第2号議案「平成15年度事業計画並びに収支予算」案の審議に移った。事務局から同案について説明がなされ、審議が行われた。各事業に対する補助金の今後の見通し、公益事業と収益事業の違い、管理費に対する件などの質問、意見が会員から出され、活発な討議がなされた後、賛否が諮られ、第2号議案は原案通り承認可決された。(最終ページに掲載)

第3号議案は平成17年度開催の第33回全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催地を決定するもので、愛知県名古屋市が立候補した。足木準治副理事長から、同年に開かれる「愛知万博」に是非関連させて開催したいとの説明がなされ、議場に諮ったところ、名古屋市で開催することが承認された。主管はこれから組織される愛知県内のJAO会員メンバーによる実行委員会が担当することになる。

決議事項最後の第4号議案は任期満了による新年度からの役員改選案についてで、森下元康理事長から詳しい説明がなされた。現在の理事全員の留任と、新たに高橋憲治さんの理事就任、高橋さんの後任監事には三重フィルハーモニーの坂倉元さんに就任をお願いするもので、同案は満場一致で承認可決された。その後、新たに理事に就任する高橋さんから挨拶があった。(坂倉さんは欠席。)

続いて報告事項に移り、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」について青少年オーケストラ委員会の土田委員長から、「第31回全国アマチュアオーケストラフェスティバル横浜大会」については横浜交響楽団の小磯実行委員長から進捗状況の説明があった。また、平成15年度の「第4回日本マスタースオーケストラキャンプ」は来年1月に会場を第一生命ホール(東京)に移して開催することや、国際交流の予定、来年の全国アマチュアオーケストラフェスティバル大阪大会について、各担当者から報告があった。続いて事務局から平成15年度の「トヨタコミュニティコンサート」の申請状況、認可数などの報告があり、最後に昨年新潟大会の実行委員長、大塚哲夫さんからお礼の言葉があり、午後4時40分、議長は予定された議事がすべて終了したことを述べ、閉会を宣した。

なおその後、同会場で新理事による臨時理事会が開かれ、理事の互選により、会長に神野信郎、副会長に村上正治、理事長に森下元康、副理事長に足木準治、横田行雄、西脇義訓の各氏が、いずれも再任された。



総会風景



理事会風景

# 第3回日本マスタースオーケストラキャンプ

《2002.9.13～15 千葉県木更津市》

かずさアカデミアパークで行われた『第3回日本マスタースオーケストラキャンプ』の様をお伝えします。

年に一度、東京湾アクアラインを通り、向うは千葉県木更津。

マスタースオーケストラキャンプも今回が3回目。前回同様今回もかずさアカデミアパーク内で3日間に渡り開催されました。

マスタースオーケストラ、と聞くとどうしても「自分は該当しない」などと思われがちですが、いえなんの実年齢がお若い方も外見がお若い方も大勢いらっしゃいます。また、全国大会でもあるフェスティバルでは自分と同じ楽器を演奏される講師の方のご指導は受けられませんが、ここでは実際に一緒に演奏したり宴会したりと、とても充実した時間を過ごせる場所でもあります。

金曜日はアンサンブルを中心とした研修。弦楽、木管5重奏、フルートアンサンブルといった、様々な体系の編成でそれぞれが講師の指導を受けていらっしゃいます。

ここで講師のご紹介を……。

NHK交響楽団よりVnの森田昌弘先生、中村弓子先生、松田拓之先生、Vaの梯孝則先生、井野邊大輔先生、Vcの三戸正秀先生、山内俊輔先生、Cbは元群響の佐々木正治先生、管楽器は急遽、Obに元読響の吉水洋先生、Hrに新日本フィルの古野淳先生、日本フィルの丸山勉先生……。

なんとまあ豪華な顔ぶれ。個人レッスンを頼むだけでも大変なのにココでは先生自らが足を運んで指導をして下さるのだから。先生方もとても熱心、かつ優しい方ばかりで参加者から絶大の信頼が寄せられます。

ホールで弦楽器のアンサンブル練習をのぞくと、ちょうどヴィオラの井野邊先生が参加者と一緒に演奏しているところ。参加者の音や弾いている姿勢がみるみる変化していく様子は、きっと同じステージに乗っていた他の参加者も感じたことかもしれません。

土曜日になるとオーケストラ部門の参加者が集まってきます。前回も一緒に演奏した顔を見つけるとそこで会話が始まります。年に一度しか会わなくとも、そんなギャップはありません。すぐに打ち解けられるのも音楽の魅力（魔力？）とでも言いたいでしょうか……。お弁当を広げた輪から楽しい会話が聞こえてきました。

ホールでは前日からの練習成果を披露すべく、準備がされていました。アンサンブル団体は最終練習に余念がありません。少々緊張した面持ち。始まった発表会ではそれぞれが講師の方々の指導を元に素晴らしい演奏をされています。中には衣装も揃えられた方も。演奏後にはそれぞれ講師の方からアドヴァイスを頂き、演奏を聞いていた参加者にとっても勉強になったことと思います。

開会式が始まり、森下理事長はじめ役員の方々のご挨拶、講師の紹介など、一通り済ませると早速練習開始です。

まずは弦と管打に分かれてのセクション練習。弦楽器はパート練習だったようです。

曲目はブラームスの交響曲第3番。3楽章のチェロの旋律が有名ですね。指揮棒が降りた瞬間にそれぞれがどこで活動しているとか、年齢とか性別とか全く関係なく一つになり曲が作られていく様子は、何度経験しても全身に電気が走ったかの衝撃を受けます。

途中では恒例となったティータイム。お菓子をつまみつつ、コーヒーや紅茶を飲んでまた音楽の話……かと思いきやこのお菓子が美味しい、などとのどかな雰囲気でも和みます。休憩後は合奏。森下理事長の指揮で演奏が始まります。講師の方々も入った演奏に、知らず知らずのうちに力も入ります。あっという間の時間でした。

練習が終わると懇親会。アカデミアパーク内にあるホテルオークラに宿泊するのですが、アカデミアパーク内にあるレストランが懇親会会場。各パートやセクション、アンサンブル団体は指導をして下さった講師を囲んで盛り上がっています。テーブルには木更津らしく海の幸もたくさん並び、天ぷらはその場で揚げてくださりました。美味しい料理と仲間がいれば会話も弾み、各自の部屋に戻っても一つの部屋に集まって宴会の続きを繰り広げたのは言うまでもありません。

3日目は公開練習。一般の方を招き入れて練習の成果を聞いてもらいます。前回とは違い、舞台の準備も万端。今回も前日に演奏したアンサンブルの数団体が前半として舞台に乗ります。前日の舞台での経験を生かして、より素晴らしい演奏を披露されました。そして後半としてブラームスを演奏しました。公開練習、そして無料とはいえお客様がいらっしゃる以上、舞台上では本番同様の緊張感がみなぎります。指揮棒が降り、演奏が始まります……。講師の一つ一つの言葉を思い出しながら、周りの音や遠くの演奏者の様子を見聞きしながら音楽は進みます。そして指揮棒が降りる。決して多くはないお客様でしたが、客席からは暖かい拍手を頂きました。

舞台を片付け、また再会を誓いそれぞれが帰路につきました。

自然に囲まれた素晴らしい会場で、音楽をするには好環境でした。

次回はまた趣旨を少し変更し、弦楽器のみ、場所も東京での開催となりますがフェスティバルとは違った経験ができるマスタースオーケストラキャンプにぜひご参加ください。

最後になりますが、前回は公開練習の際に高円宮憲仁親王殿下のご臨席を賜りました。いつかはご一緒に舞台上で演奏が出来るものと信じておりましただけに、訃報に接し大変驚愕致しました。この場をお借りして哀悼の意を表します。



吉水先生からの指導が客席から飛んできます



懇親会でのチェロパートは山内先生を囲んで大盛り上がり



衣裳も揃えられ、素晴らしい演奏を披露



まだまだ現役。頑張ります！



ティータイムでのひととき。何の話かな？



公開練習での弦楽アンサンブル。講師も入られての見事な演奏でした



記念撮影。今年は全員写ってます



おまけ。アクアラインにある「海ほたる」のキャラクター商品です

平成 15 年度  
社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟  
収支予算書

自 平成 15 年 4 月 1 日  
至 平成 16 年 3 月 31 日  
(単位:円)

第 19 回 TYOC 運営委員長  
鈴木 肇 (豊橋ユースオーケストラ)

第 19 回 TYOC を迎えて

毎年 3 月に開催されるトヨタ青少年オーケストラキャンプ(以下 TYOC)も今年で 19 回目を迎えます。TYOC は JAO 会員の青少年が音楽を学ぶことを目的としたもので、参加者は与えられた研修曲を 2 年間で 1 期として学んでいきます。

TYOC の運営は参加する青少年たち(運営委員会)によって行われ、今期は私がその委員長になりました。昨年も運営委員として参加しましたが、当日に向けて参加者の動きなど色々な問題を想定し、幾度となくシミュレーションを繰り返し綿密な準備をしていくことなど、普段経験することの出来ないようなことがたくさんあり、すばらしい経験をすることが出来たと思っています。昨年は前委員長の 大場君(岐阜ジュニアオーケストラ)が運営委員メンバーと協力し、とてもしっかりと準備を進めて、大成功を収めることが出来ました。今年はそのポジションに私が就くことになり、あれほどしっかりと役をまっとう出来るかという不安もたくさんあります。しかし、今期の開催地である神奈川県(藤沢ジュニアオーケストラ)の代表者、事務局のご協力を頂き、準備は着々と進んでいます。

すべての参加者がよかったなと満足して帰れるようなそんなすばらしい TYOC を目指し、今期を成功させることが出来るように努力してまいります。

~~~~~

事務局通信

会員への業務連絡にメールを活用するようになって 1 年半になります。しかしまだ連絡用メールアドレスを登録して頂いていない団体が 30 団体弱あります。各種連絡、提出書類、案内等の業務はメールに可能な限り移行していきたいと考えています。それは郵送代の節約にもなりますし、双方の業務の簡素化にもなります。ひるがえって私たち事務局として考えて見ますと、改善すべきところがたくさんあり、メールを十分に活用しているかと言うと、反省する点が多々あります。そういう点は皆さんからアドバイスを頂き、新年度からは一層活用したいと思います。まだ連絡用メールを申告していない団体は、どうか一刻も早く設定してください。また担当者やアドレスが変更になった場合は事務局に連絡を忘れないようにお願いします。行方不明メールが無くなるようにご協力をお願いします。

| 科 目             | 予算額          | 前年度予算額       | 増 減        |
|-----------------|--------------|--------------|------------|
| <b>I 収入の部</b>   |              |              |            |
| 1 基本財産運用収入      |              |              |            |
| 基本財産利息収入        | 35,000       | 35,000       | 0          |
| 2 入会金・会費収入      |              |              |            |
| 入会金収入           | 30,000       | 30,000       | 0          |
| 正会員会費収入         | 7,700,000    | 7,750,000    | 50,000     |
| 賛助会員会費収入        | 2,600,000    | 2,630,000    | 30,000     |
| 3 事業収入          |              |              |            |
| 全国大会収入          | 3,300,000    | 5,357,000    | 2,057,000  |
| 青少年キャンプ事業収入     | 3,700,000    | 4,150,000    | 450,000    |
| マスターズキャンプ事業収入   | 700,000      | 384,000      | 316,000    |
| 機関誌発行事業収入       | 1,000,000    | 1,000,000    | 0          |
| 4 補助金収入         |              |              |            |
| 地方公共団体補助金収入     | 3,000,000    | 4,000,000    | 1,000,000  |
| 民間助成金収入         | 35,910,000   | 32,890,000   | 3,020,000  |
| 5 雑収入           |              |              |            |
| 受取利息            | 6,000        | 3,000        | 3,000      |
| 雑収入             | 400,000      | 400,000      | 0          |
| 当期収入合計(A)       | 58,381,000   | 58,629,000   | 248,000    |
| 前期繰越収支差額        | 9,582,745    | 10,946,745   | 1,364,000  |
| 収入合計(B)         | 67,963,745   | 69,575,745   | 1,612,000  |
| <b>II 支出の部</b>  |              |              |            |
| 1 事業費           | (43,808,000) | (44,233,000) | ( 425,000) |
| 臨時雇用賃金          | 500,000      | 300,000      | 200,000    |
| 福利厚生費           | 7,177,000    | 5,756,720    | 1,420,280  |
| 会議費             | 930,000      | 3,921,000    | 2,991,000  |
| 旅費交通費           | 9,830,000    | 15,184,360   | 5,354,360  |
| 通信運搬費           | 1,780,000    | 1,538,000    | 242,000    |
| 消耗品費            | 1,045,000    | 1,812,000    | 767,000    |
| 印刷製本費           | 4,600,000    | 2,315,000    | 2,285,000  |
| 賃借料             | 7,330,000    | 4,202,659    | 3,127,341  |
| 災害保険料           | 260,000      | 159,600      | 100,400    |
| 諸謝金             | 7,506,000    | 7,528,541    | 22,541     |
| 宣伝広告費           | 793,000      | 543,000      | 250,000    |
| 雑費              | 2,057,000    | 972,120      | 1,084,880  |
| 2 管理費           | (14,510,000) | (14,530,000) | ( 20,000)  |
| 役員報酬            | 4,800,000    | 4,800,000    | 0          |
| 給与手当            | 1,050,000    | 1,050,000    | 0          |
| 諸謝金             | 600,000      | 110,000      | 490,000    |
| 福利厚生費           | 30,000       | 30,000       | 0          |
| 会議費             | 1,000,000    | 1,430,000    | 430,000    |
| 旅費交通費           | 1,600,000    | 1,550,000    | 50,000     |
| 通信運搬費           | 900,000      | 900,000      | 0          |
| 消耗品費            | 700,000      | 700,000      | 0          |
| 渉外費             | 100,000      | 170,000      | 70,000     |
| 印刷製本費           | 150,000      | 150,000      | 0          |
| 光熱水料費           | 200,000      | 190,000      | 10,000     |
| 賃借料             | 2,740,000    | 2,740,000    | 0          |
| 災害保険料           | 10,000       | 6,000        | 4,000      |
| 租税公課            | 30,000       | 24,000       | 6,000      |
| 雑費              | 600,000      | 680,000      | 80,000     |
| 3 特定預金支出        | (1,230,000)  | (1,230,000)  | (0)        |
| 基本財産積立預金支出      | 30,000       | 30,000       | 0          |
| 特定預金積立預金支出      | 1,200,000    | 1,200,000    | 0          |
| 4 予備費           | 100,000      | 0            | 100,000    |
| 当期支出合計(C)       | 59,648,000   | 59,993,000   | 345,000    |
| 当期収支差額(A)-(C)   | 1,267,000    | 1,364,000    | 97,839     |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 8,315,745    | 9,582,745    | 1,267,000  |

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

もっと、たくさんさんの感動を応援したい。  
これもトヨタの願いです。

トヨタは全国で 21 年連続 100 回を超える「トヨタ」コンサートなどアマチュア音楽活動をはじめ、美術、演劇など幅広い分野で地域に根ざした文化活動を応援しています。みんながもっとワクワクドキドキするために、トヨタは、いっしょに歩いていきます。

ワクワクワクワク、  
ワクワクワクワク、  
ワクワクワクワク、  
ワクワクワクワク。

EXPO 2005 AICHI  
応援します告知万博

●トヨタのメセナ(芸術文化活動)の情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。www.toyota.co.jp/mecenat/